

生活文化局に寄せられた都民の声と対応事例（令和7年12月分）

<文化振興部>

「TOKYO FORWARD 文化プログラム 「TRAIN TRAIN TRAIN」」について、大変素敵な企画で感動しました。

ダンサーの中に手話通訳士がいると思って見ていたら、耳が聴こえないと知り驚きました。岡山天音さんのセリフと手話がぴったりで、一体感がありました。車椅子など見える障がいだけに気付き、耳が聞こえない役者やダンサーがいることに気が付きませんでした。ダンサーチームは本当に素晴らしかったです。

【対応】

この度は「TOKYO FORWARD 文化プログラム 「TRAIN TRAIN TRAIN」」についてあたたかいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。

「TRAIN TRAIN TRAIN」は、東京2020パラリンピック開会式のパフォーマンスで中心を担った森山開次さん、和合由依さんをはじめとする多様な個性がそれぞれの違いを活かし共創する、不思議なSLを舞台とする冒険譚です。障害の有無を問わず、誰もが楽しめることを目指し、演者・観客双方のアクセシビリティに配慮して公演を実施いたしました。

創作の初期段階から「クリエイティブ」と「アクセシビリティ」という二つの視点を携え、看護師資格を有するアクセシビリティコーディネーターなど専門スタッフが伴走し、車いすの俳優、ろう者や義足のダンサーなど多様な演者のパフォーマンスを支えました。

また事前にオンラインで、誰もが安心して舞台を楽しむための「乗車ガイド」を配信し、大きな音や光に敏感な方も安心して観劇できるようにしました。

今後も多様な主体と連携し、芸術文化を広く発信するとともに、鑑賞・参画機会の増加や鑑賞サポート等さらなる充実に取り組んでまいります。

[乗車ガイド](#) | [舞台『TRAIN TRAIN TRAIN』](#) | [東京芸術劇場公式](#)